

日本能率協会は、2015年4月1日より、ドイツ・ハノーバーに世界最大の国際展示会会場を保有するドイツメッセ株式会社の日本におけるセールスパートナーとして、同社が主催する国際展示会への日本企業の出展・来場誘致を行います。

News
Release



Deutsche Messe

2015年8月11日

報道関係各位

一般社団法人日本能率協会
ドイツメッセ日本代表部

世界最大級 B to B IT 関連専門展示会 「CeBIT 2016 (セビット)」 初日に欧州委員会の年次ハイレベルカンファレンスを開催 テーマは“EU のデジタル単一市場の構築”



～2016年3月14日(月)～18日(金)、ドイツ・ハノーバー～

世界最大級 B to B の IT 関連専門展示会「CeBIT」。IoT、ビッグデータ、クラウド、セキュリティなど IT ビジネス分野で世界 70 カ国から 3,300 社が出展し、世界市場に影響力をもつ展示会です。(主催：ドイツメッセ株式会社/ドイツ・ハノーバー)

このたび、CeBIT 2016 の初日となる 3 月 14 日(月)に同会場で、欧州委員会の年次ハイレベルカンファレンスが開催されることが決定しました。

テーマは「EU のデジタル単一市場の構築 (DSM 戦略)」。EU のデジタル単一市場戦略は、ヨーロッパ全体を結ぶ通信ネットワークの拡充、国境を越えたデジタルサービス、ヨーロッパの革新的スタートアップ企業の振興を目的とする欧州委員会の最も重要なプロジェクトで、現在 EU28 カ国のそれぞれ違った法規制を取り去り 1 つの市場を形成しようとするものです。この取組みが機能すれば、さらに年間 4,150 億ユーロの成長を EU にもたらし、膨大な数の職場を創出すると考えられています。

同会議では、「インフラのグレードアップと拡張」「標準化」「セキュリティ」「スタートアップ企業」などに焦点が当てられます。

今後、CeBIT Global Conference の一部として、毎年 CeBIT の会期初日に行われる予定です。同会議へは CeBIT の入場券で参加が可能です。

【デジタル経済の発展への一助に ～CeBIT 担当取締役副社長 オリバー・フレーゼの発言より～】

今回の決定を受け、ドイツメッセ CeBIT 担当取締役副社長 オリバー・フレーゼ (Oliver Frese) 氏は、「欧州委員会が重要な年次ハイレベルカンファレンスの開催場所に CeBIT を選んだことは、CeBIT がデジタル経済において重要なイベントであること、産業と政治の接点であることを証明している。CeBIT はもはや単なるコンピューターの展示会ではなく、世界のデジタル化を牽引する展示会に成長した。ヨーロッパのデジタル戦略の実行に積極的に関与できることはわが社の誇りだ」と話しています。

CeBIT 2016

開催期間:2016年3月14日～18日 会場:ドイツ・ハノーバー国際見本市会場

出展料金:4,431.80ユーロ/12㎡～(9月30日までの申込で1㎡あたり10ユーロ引き)

出展テーマ:・デジタルビジネス・ソリューション ・ビジネスプロセス・アプリケーション
・ECM、インプット/アウトプットソリューション ・IoT (モノのインターネット)
・リサーチ&イノベーション ・データセンターダイナミクス ・ビジネスセキュリティ
・コミュニケーション&ネットワーク

【本件に関するお問い合わせ】一般社団法人日本能率協会 担当:竹生(たけお)

〒105-8522 東京都港区芝公園3-1-22

TEL: 03-3434-6447 / FAX: 03-3434-8076 / E-Mail: DMS@jma.or.jp

※取材のお問い合わせは、広報室(TEL: 03-3434-8620、担当:斎藤)へお願いいたします

CeBIT 関連のイベント（9/29-30／独・ボン）のご紹介

「Wearable Technologies & Digital Health」をテーマに、 この秋、ドイツ・ボンで新たに国際カンファレンスを開催 ～デジタル化により医療・ヘルスケア分野の革新をめざす～

B to B 向け IT 関連専門展示会「CeBIT」を主催するドイツメッセでは 2015 年 9 月 29 日(火)～30 日(水)の 2 日間、ドイツ・ボンのホテル・ケーニヒスホーフ(Hotel Königshof)で、新国際カンファレンスを開催します。

テーマは日本でも昨年ころから注目が高まっている「ウェアラブル」。IT 専門の調査会社 IDC は、2014 年世界中で販売されたウェアラブル端末の総売数は 2,300 万台にのぼり、2019 年には、1 億 5,000 万以上になると推定しています。また総務省の平成 26 年版情報通信白書によると、日本におけるその市場規模は 2014 年が 111 万台、2019 年には 549 万台に達すると予想されています。

ウェアラブル技術の開発と普及は医療・健康市場にとっても大きな意味を持ちます。ウェアラブル技術、アプリケーション、ビッグデータ、スマートサービスは、例えば医者と患者、医療保険、製薬産業の間の関係やコミュニケーションのあり方に革命的な変化をもたらします。そこで、今回は、医療・ヘルスケア分野に焦点を当てたプログラムが予定されています。

カンファレンスのトピックス

◆デジタル化によるデータ収集と分析の単純化がもたらす恩恵

デジタル化によってデータ収集と分析を単純化することで医療・健康産業分野のサービス提供者が受ける恩恵は膨大なものがあります。その一例として保険会社での特典プログラムの構築の幅広い可能性と管理・実現方法をテーマにカート・ベッカー教授(Prof. Dr. Kurt Becker、アポロン応用科学大学/Apollon University of Applied Science)が座長を務め、その分野のエキスパートらと討論会を行います。

◆健康産業の将来を決定するデジタル化革新

健康産業におけるウェアラブルの課題を技術面、法律面から包括的に扱います。さらにデジタル化により、病院での日常の診断・治療の労力がどう軽減されるかも討論されます。

他のテーマとしてはビッグヘルスデータ、QS(Quantified Self=コンピューター等を用いて自己の状態・行動を定量的に観測すること)と健康管理システムの接点としてのセルフケアなどを予定しています。

◆コ・クリエーション(価値共創)について、アメリカからのライブ中継討論

カンファレンス初日(9 月 29 日)の午後に、Florida Hospital Innovation Lab.(FHIL)の共同設立者のステファン・ヘルツベルク(Stefan Herzberg)氏とカレン・ティルストラ(Karen Tilstra)氏が、「コ・クリエーション～ヘルスケアにおけるデジタル化と諸課題への対応方法」をテーマに、2 人の経験をライブ中継でレポートします。

コ・クリエーション(価値共創)方式で医療の様々な分野の関係者とのコラボにより効果をあげ、病院内の患者により良い治療を提供することを目的にしています。

◆スタートアップ企業と最新のウェアラブル

技術的な発表と並んでカンファレンスではグーグルのグラスチェア(頭の動きと声で車いすを操作するアプリ)や Health Natives(健康に関するネットワーク)、難聴者のための IT ソリューションなど、新進の若いスタートアップ企業が、ビジネスモデルをプレゼンテーションします。カンファレンスの参加者は「Wearable Playground」と名づけられた特設コーナーで数々の最新ソリューションを体験することができます。

本カンファレンス詳細は <http://www.euroforum.de/wearables/> (ドイツ語／一部英語)をご覧ください。

以上